

自己評価				評価(総合)		学校関係者評価		
学校運営計画(4月)				評価(総合)		自己評価は		
学校運営方針 1 校訓「質実剛健 自強不息」を体現するため、学習活動・学校行事等において生徒の主体性を重視し、生涯学び続ける態度を育成する教育活動を推進する。 2 多様化する社会に柔軟に対応するため、人権感覚を高め、高い人権意識に基づく全教科全領域での人権教育と道徳教育の充実を図る。 3 6ヶ年を見据えた中高一貫教育充実のため、教科指導・進路指導・生徒支援等の連携・協働性を高め、GIGAスクール推進のための教育活動を実践する。				A		A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である		
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標					
成果としては、中高一貫教育校として難関大学を含めた進路実績を見て、6年間を見通した教育課程、進路指導が評価されている。コロナ禍ではあったが、キャリア教育を推進し、地域の人材を活用したプログラムや体験活動(国内語学研修等)を実施でき、生徒の探求心が深まったと考えている。 今後は、学力向上はもちろんのこと生徒一人一人の可能性を最大限に発揮させるカリキュラム編成や探究活動の充実を図ると共に、学校の様子などを発信したり、ボランティア活動を積極的にこなすことで、地域との連携を深め、生涯学び続ける生徒の育成に努めていきたい。		宗像中学校としての自強不息の学習指導と授業改善 自律心を涵養する生徒指導 高い志を育てる進路指導	生徒に6年後を見据えた学習方法(予習・授業中・復習)を体得させ、主体的に学習に取り組む姿勢、生涯学び続ける態度を育成する。 生徒の実態を踏まえ、生徒の力を最大限伸ばすために、GIGAスクール構想を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を推進する。 時制改編、考査の見直し、学校行事の精選等、教育改善を通して、生徒の可能性を最大限に引き出すと共に、生徒が達成感・充実感を高める教育活動を展開する。 ルールや社会のしくみの意味についてよく考え、その理解に基づいて自らを律し、生徒相互の力によって、より良い学校生活を実現する意識と姿勢を育成する。 生徒の主体性を重視した学校行事や部活動等を通じて自己の役割に対する責任感の醸成につなげ、協働性、探求力、コミュニケーション力の育成を図る。 地域でのボランティア活動や校外活動等を通じて、自尊感情を高め、地域と共にある学校づくりの契機とする。 中高一貫教育校として、6年間を見通した進路指導・キャリア教育の体系的指導計画(マトリックス等)を高校と協働して策定し、継続的にその改善・充実を図る。 模試や英検・数学オリンピック等をはじめとする校外での試験等への積極的チャレンジ的的確な分析を行うことで高い志を涵養するとともに、自己実現のための確かな学力を養成する。 「夢に向かって」の意義等についての理解を深め、「夢に向かって」を計画的・継続的・効果的に活用することで、短期・長期的な目標の実現に向けた実践力を育成する。					
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題			
教育推進部	教育計画課	本校の教育目標を実現するための学習指導について研究する。	A	A	A	生徒の個別最適な学習指導内容及び支援方法、評価方法を検討する。	A	
	企画庶務課	教科・学年等と連携し、生徒が充実感や達成感を感じられる教育活動の展開を支援する。	A	A				効果的な行事および総合的な学習の時間の計画及び内容を精選する。
	広報課	学校教育目標の達成につながる各種式典等を企画・実施する。	A	A				高校と連携を取り、行事の計画を早期に行い、円滑に実施する。
生徒支援部	生徒指導課	生徒の学校生活の充実に資する活動を展開する。	A	A	A	中学校教室の生徒用机・椅子、ロッカーを含む教室内の備品整備と設置計画を行う。	A	
	保健環境課	宗像中学校の魅力を効果的に広報できるように活動を行う。	A	A				ホームページ上の写真や説明会でのパフォーマンスを通して、生徒の生き生きとした姿を発信できるようにする。
	進路指導課	学校生活や行事の様子をタイムリーかつ積極的に外部に発信する。	A	B				幅広い手段を使用して広報活動の充実を図る。
進路支援部	生徒指導課	ホームページ上で各行事について取り上げ、内容の充実を図るとともに、本校の魅力を外部へ発信する。	A	A	A	学校説明会での生徒発表や学校案内の内容を充実させ、本校の魅力を児童等に効果的に伝えられるようにする。	A	
	保健環境課	学校説明会での生徒発表や学校案内の内容を充実させ、本校の魅力を児童等に効果的に伝えられるようにする。	A	A				ホームページ上の写真や説明会でのパフォーマンスを通して、生徒の生き生きとした姿を発信できるようにする。
	進路指導課	学校ホームページの学校行事や部活動に関する項目の内容の充実を図る。	A	B				幅広い手段を使用して広報活動の充実を図る。
研究開発部	生徒指導課	YouTubeやInstagramなどのSNSの活用頻度を高くする。	B	B	A	校則の見直しについて、生徒と教員が協力し、内容を検討する。「指導」ではなく「支援」という目線で生徒と向き合う。	A	
	保健環境課	場に応じた挨拶の励行を教員・生徒がともに推進していく。	B	B				挨拶、掃除、時間厳守等、普段の学校生活に応じた生徒会活動を一層充実させる。
	進路指導課	新しい校則の共通理解と指導の徹底を図っていく。	B	B				早期に生徒の情報共有を行ったり、スクールカウンセラーと連携したりすることで生徒支援体制を充実させる。
研究開発部	保健環境課	集会や各委員会活動、生徒会が前面に出る機会を増やし生徒会を中心に学校の活性化を図っていく。	A	A	A	清掃の徹底による校内美化意識のさらなる向上を図る。	A	
	進路指導課	職員全体で生徒の指導状況を記録し、情報共有をする。	A	A				外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。
	キャリア教育課	ケースやいじめ・不登校対策委員会にSCに専門的アドバイスを求め、職員全体で配慮を要する生徒に対応する。	A	A				大学の情報提供や、各種検定やコンテストへの団体での挑戦の支援を行い、高い志の生徒への進路決定の支援を行う。
研究開発部	進路指導課	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A	A	地域や高校等を交えた発表活動を企画し、実施する。	A	
	キャリア教育課	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A				キャリアパスポートの他校での活用方法等の情報収集と本校の教育活動への応用を検討する。
	研修課	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A				キャリアパスポートの効果的な活用方法について研究を進める。
研究開発部	研修課	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A	A	今後本校の現状を踏まえた職員研修を企画し、実施する。	A	
	図書課	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A				ICT関連の研修を継続して実施する。
	第1学年	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A				図書館に来館する生徒・職員の固定化の傾向がみられるので、より多くの人に利用してもらおうと工夫する。
学年部	第2学年	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	B	B	A	文化・図書委員が図書館行事や日頃の図書館業務で活動しやすくするための環境整備を図る。	A	
	第3学年	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A				文化・図書委員が図書館行事や日頃の図書館業務で活動しやすくするための環境整備を図る。
	学校いじめ防止基本方針	外部模試の結果の分析を行い、具体的な学習の支援計画を提示する。	A	A				文化・図書委員が図書館行事や日頃の図書館業務で活動しやすくするための環境整備を図る。
自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策				評価項目以外のものに関する意見				
・ICTを活用しながら、生徒を引き付ける授業改善、生徒が主体的に活動できる授業改善を今後も進めていく。 ・中高一貫教育校として6年間を見通したカリキュラム編成や体験活動をとらして学習した内容を発信できる力の育成に努めていく。 ・学力向上に向けて模試等の分析を踏まえ、授業改善を行いながら、生徒が学習内容を深めていくよう努める。 ・HPを活用して、学校の様子などを発信することで、地域の方々にも知っていただき、地域と協働できる取り組みを推進していく。				・支援が必要な生徒の方には、スクールカウンセラーの活用や組織的な対応、支援を今後もお願いしたい。				